

序

皆さんは、歯科医師として社会に出る一つ手前のステップとして本学での学生生活を過ごしています。それと同時に皆さんが歯科医師として参画するであろう社会は、その姿を刻々と変化させています。昨今の社会現象にみるように、歯科医師には、歯科医療に関する知識や技術はもとより、他の職種と比較しても社会人として信頼され尊敬される高い倫理性を有した人間であることが求められています。さらに歯科医師として必要な知識や技術は、歯科疾患を単に口腔内のみの現象と捉えるに留まらず全身との関係が探求され、その量は膨大なものとなり、また日々刻々と進化しています。

歯科医師は、患者という疾患を有した一人の人間と対峙し、持てる知識と技能のすべてを十分に機能させ、適切な歯科医療を実践することが問われます。医療の現場は、一瞬一瞬のすべてが真剣勝負であり、歯科医師は、患者の全幅の信頼を受け自らの知識と技術で、その場に臨まなければなりません。そのために皆さんは、将来歯科医療を実践するために必要な様々な知識や技術を断片的に身につけるのではなく、個々の情報を統合し整理していく技術と習慣を身につけていくことが必要とされています。皆さんの目標は、社会から望まれる歯科医師になることです。日々の学生生活の中で漫然と時間を過ごすのではなく、常に目標を銘記しながら研鑽を積んでいかなければなりません。そのためにも、修学にあたっては、日本大学の教育理念である「自主創造」の精神を持って、学生生活を送って頂きたいと考えています。

本学のカリキュラムは、そういった時代のニーズに呼応し、全人的歯科医療を実践できる歯科医師を育成することを目標としています。また、本学部の教員は、Faculty Development を通じ自己研鑽と教育技法の開発に努め、より良い学生教育を目指しています。このシラバスは、皆さんの修学の一助として作成されたもので、これを予習復習に十分活用し、最高学府に身を置くものとしてふさわしい日々を送られることを期待します。なお、今回本シラバスは、その記載方法の大幅な見直しを行い、より充実したものになりました。

平成26年4月

学部長 渋谷 鑛